

① 事業評価シート

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成28年2月

1. 対象事業	周南市徳山中央処理区合流式下水道緊急改善計画			
2. 実施主体名称	山口県 周南市			
3. 計画期間	平成22年度～平成25年度			
4. 対象事業の進捗状況	周南市合流式下水道緊急改善計画に基づき、以下の対策を実施した。 ①汚濁負荷量の削減 : 分流式下水道並み 徳山中央浄化センター最初沈殿池の簡易処理高度化施設への改造 ②公衆衛生上の安全確保 : 未処理放流回数の半減 部分分流化、せき高の嵩上げ5箇所 ③きょう雑物の削減 : きょう雑物流出を極力防止 スクリーン設置21箇所			
5. 目標の達成状況と達成の見通し	改善目標			
改善項目	改善目標			
①汚濁負荷量の削減	分流式下水道と置き換えた場合に排出する汚濁負荷量と同程度以下とする。			
②公衆衛生上の安全確保	全ての吐口において、未処理放流回数を半減させる。			
③きょう雑物の削減	全ての吐口において、きょう雑物の流出を極力防止する。			
目標に対する達成状況				
改善項目	評価指標	対策前	改善目標	事後評価
①汚濁負荷量の削減	放流負荷量	147.3 t/年	109.4 t/年	103.9 t/年
②公衆衛生上の安全確保	未処理放流回数(処理区平均)	55回/年	27回/年以下	27回/年
③きょう雑物の削減	スクリーン設置箇所	1箇所	21箇所	21箇所
<u>緊急改善計画を基に事業を実施し、改善目標を達成している。</u>				
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	①汚濁負荷量の削減 目標値を上回る負荷量を削減した。(汚濁負荷量の目標 109.4 t/年 →汚濁負荷量の現状 103.9 t/年) ②公衆衛生上の安全確保 対象吐口の処理区平均での年間未処理放流回数が対策前から半減している。 ③きょう雑物の削減 全ての吐口(21箇所)でスクリーンを設置しており、きょう雑物の流出を極力防止している。 総降雨量10mm以上30mm以下の降雨時における合流式下水道からの放流水のBOD平均水質が40mg/L以下であることを確認した。			
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	①簡易処理の高度化は、スピリット21で開発された最新技術(高速繊維ろ過システム)を採用した。 ②未処理放流回数の半減のため、部分分流化、既存の施設能力の範囲内に収まるせきの嵩上げ箇所を抽出し、費用効果の高い優先順位から対策を実施した。 ③ソフト対策として周南市HPに市民への協力依頼を掲載した。			
8. 今後の方針	①汚濁負荷量の削減 ・適正な除去率を満たす処理能力の維持、管渠からの不明水対策が期待できる処理施設、管渠の長寿命化を実施することにより、更なる汚濁負荷量の削減を図る。 ②公衆衛生上の安全確保 ・①についての対応方針と共通することから、同様の対応により、未処理放流回数の更なる減少に努める。 ③きょう雑物の削減 ・スクリーンの適切な維持管理を行い、きょう雑物の流出防止に努める。			

